

平成 24 年 10 月 26 日
厚生労働省

厚生労働省ネットワークシステムの更改に係る 民間競争入札の入札結果等について

1. 今回の調達における複数応札に向け実施した対応

- 入札制限・応札条件の緩和
 - ・ 類似実績の要求を削除、等級の緩和
- 情報の開示、テストデータ等の提供
 - ・ 提示できる資料はすべて閲覧資料として提供
- 基礎点の割合増加
 - ・ 基礎点の割合を増加し、現行業者の優位性を抑止

更に、小委員会での議論を踏まえ

- クライアント PC・プリンタ調達の分離
- SLA ディスインセンティブの緩和
 - ・ 対象の削減、減額割合を緩和

パブリックコメントでの意見を踏まえ

- 各要件の緩和
- 入札公告前の設計書等の事前閲覧の実施
- 設計書等の電子データの貸与
- データ抽出に係る費用見積の開示

2. 入札結果

- 入札スケジュール
 - ・ 入札公告 平成 24 年 7 月 12 日
 - ・ 入札説明会 平成 24 年 7 月 31 日
 - ・ 入札書及び提案書提出期限 平成 24 年 8 月 31 日
 - ・ 開札 平成 24 年 9 月 14 日
- 入札結果

入札公告前の資料閲覧	7 者
入札説明会への参加	16 者
入札書及び提案書の提出	1 者
予定価価格内の事業者(開札)	1 者

3. 入札に至らなかった要因等

- 期間的な理由
 - ・ 膨大な設計書、マニュアル類を分析し、構築・移行を確実に実施できるか、データ抽出作業に係る見積の妥当性、作業期間といったリスクについて、その回避策を検討したものの、期限内に排除することができなかった。
 - ・ 構築期間が厳しい。
- 費用的な理由
 - ・ 回線等の協業予定の業者からの見積り、現行システムの既存データの移行費用等を勘案の上、積算したところ、落札に至る入札額を提示することは困難と判断した。
 - ・ 現行システムの後継製品が自社製品に比べ費用がかさむ、自社製品に置換えを行うにも移行費用がかさむ等により、費用面で影響が出てしまう。
 - ・ 現行システムで採用している UNIX の OS を鑑みた場合、採算性が見込めなかった。

4. 現段階での今後の対応策等

今回の調達を踏まえ、今後の調達に当たっては、以下の点について検討が必要と考えている。なお、その具体化に当たっては、政府全体の IT 調達のあり方を踏まえ検討に当たる。

- 費用面での対応

本調達において、次の期へのデータ抽出は受注者の業務範囲として設定しているため、次々期システムの調達においては、現行システムからのデータ抽出作業を含めない。
- 期間面での対応

今回、実施した閲覧資料の事前開示について、応札を検討していた多くの業者から好評であったため、一層の前倒しを検討する。
現行システムからのデータ抽出作業を含めず、その作業分、構築期間を確保する。
- 調達方針の整理、公表等

次期システムの調達前に、調達の方針、時期、調達範囲等を取りまとめ、計画として公表することを検討する。